

---

**1. 2008年3月期決算について**

**2. 2009年3月期業績見通し**

**3. ビジョン2015**

**4. 2009年3月期の重点施策**

# 2008年3月期を振り返って

## 事業拡大 ー顧客への『浸透』

(1)-1 金融系大型プロジェクト  
完遂と発展

- ✓ 複数の大型プロジェクト完遂
- ✓ 共同利用型システムの次世代バージョン開発中

(1)-2 システムコンサルティング  
機能の強化

- ✓ 「業務×IT型」の案件の増加

(1)-3 金融分野以外での  
顧客・事業開拓

- ✓ 新しい事業会社設立(ユビークリンク、社会情報システム)
- ✓ アジアシステム事業元年、始動
- ✓ 商社と中国事業におけるアライアンス

## 足元固め⇒事業拡大へ

(2) さらに生産革新

- ✓ 引き続き改善する生産性向上のための施策
- ✓ プロジェクトマネジメント力の維持と向上

## 内なる先行投資

(3)-1 人材(確保と育成)

- ✓ 人材育成委員会の設置、研修体系の拡充
- ✓ 中国オフショア開発の規模拡大、ステップアップ

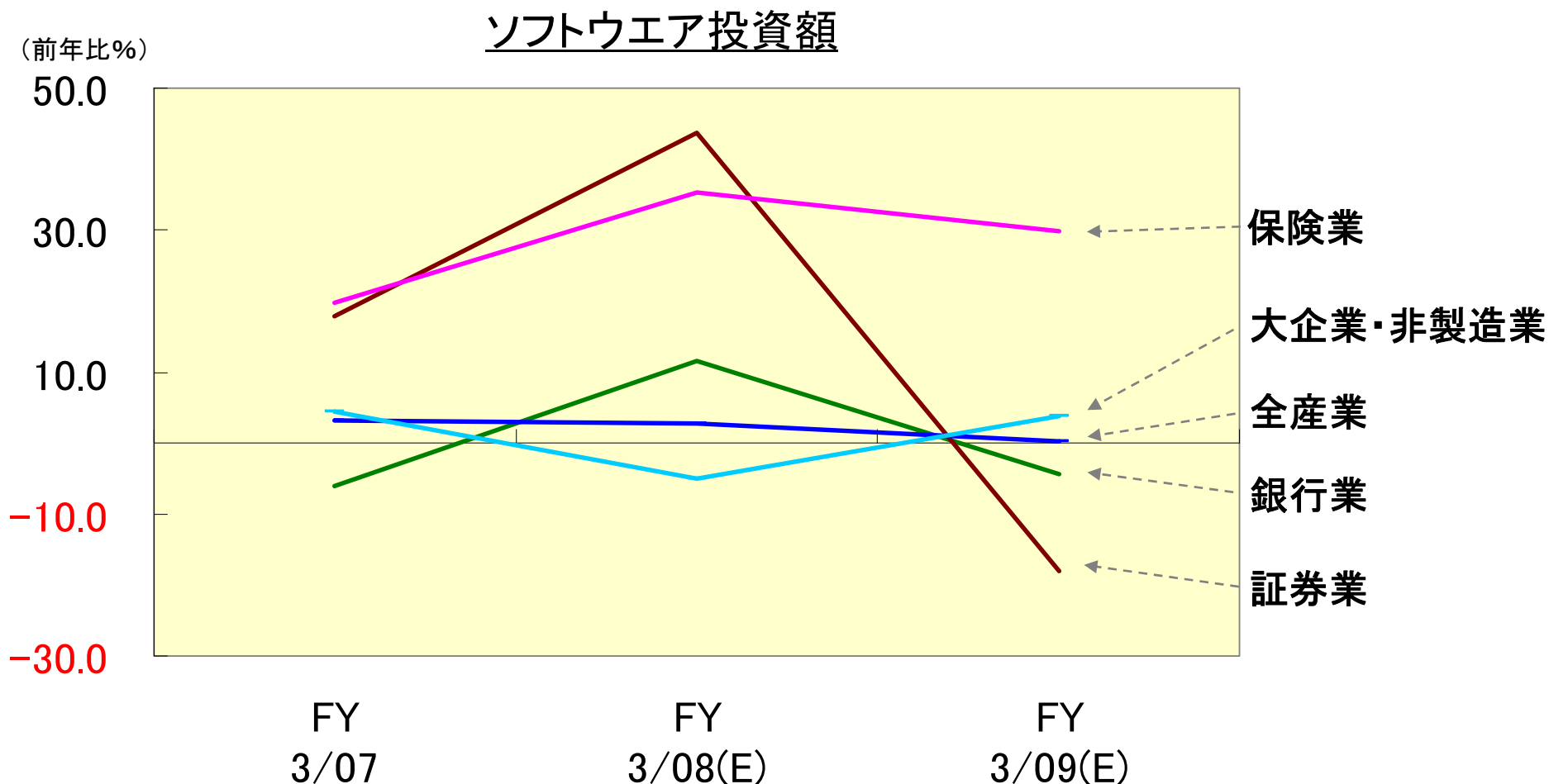
(3)-2 社内情報システム  
再構築

- ✓ プロフェッショナルのための社内システムを設計中

# 経営環境認識(1)

➤ 2009年3月期は金融業の追い風が減速、足元の経営環境は厳しくなる

■ 「保険」分野の需要は引き続き大



(出所) 日銀短観(2008年4月1日発表)企業に対するアンケート調査に基づく

# 経営環境認識(2)

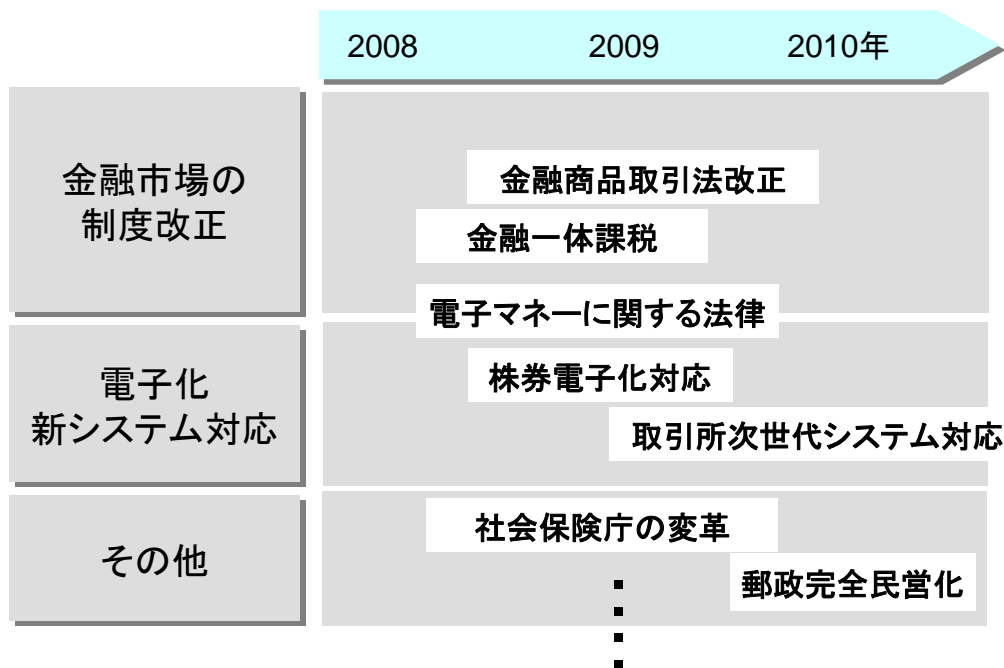
## ➤ 中期的には金融業のIT装置産業化は一層進展すると見込む

■ 内部環境は引き続き良好である

### 経営環境認識



### 金融ITマーケットにおける中期的事業機会



(注)見込みであり未確定な事項を含む

# 2009年3月期の重点施策

## 事業拡大にむけて

1. リソースシフトによるトップラインの拡大

2. 新規顧客開拓：  
ナビゲーション、業務コンサル機能を強化

3. 新規事業開発：  
アジア・基盤・ヘルスケア分野等

## 厳しい事業環境への対応

4. 外部戦力の選択的活用

5. プロジェクト監理、品質強化

**持続的成長  
中長期の仕込み**

# 1. リソースシフトによるトップラインの拡大

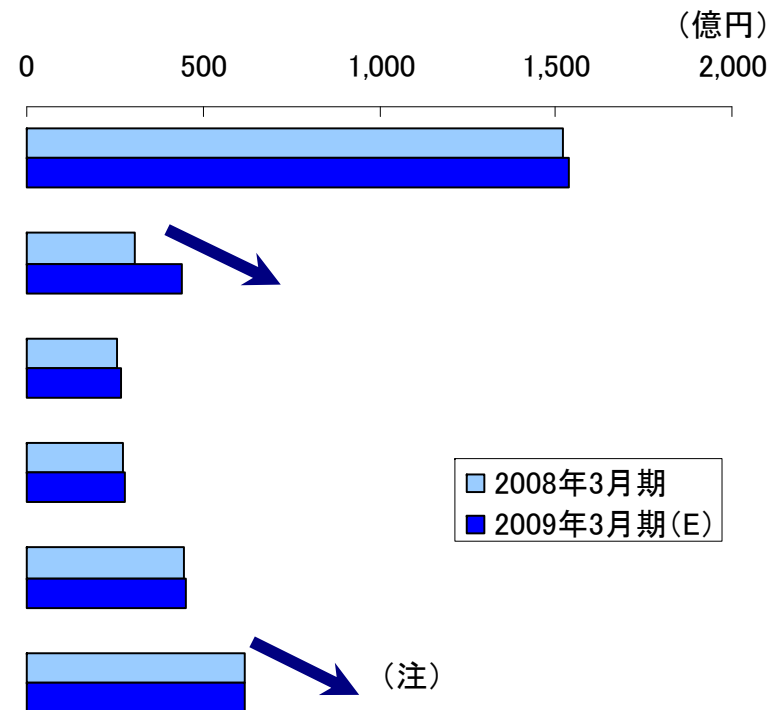
## ➤ 成長の期待できる分野を強化し、全体として売上成長を目指す

- 保険業は需要が強く、対応を強化する

### ニーズの強さとリソース配分

ニーズ	リソース配分	
	維持	証券
	強化	保険
	維持	銀行
	維持	その他金融
	維持	流通
	強化	その他産業

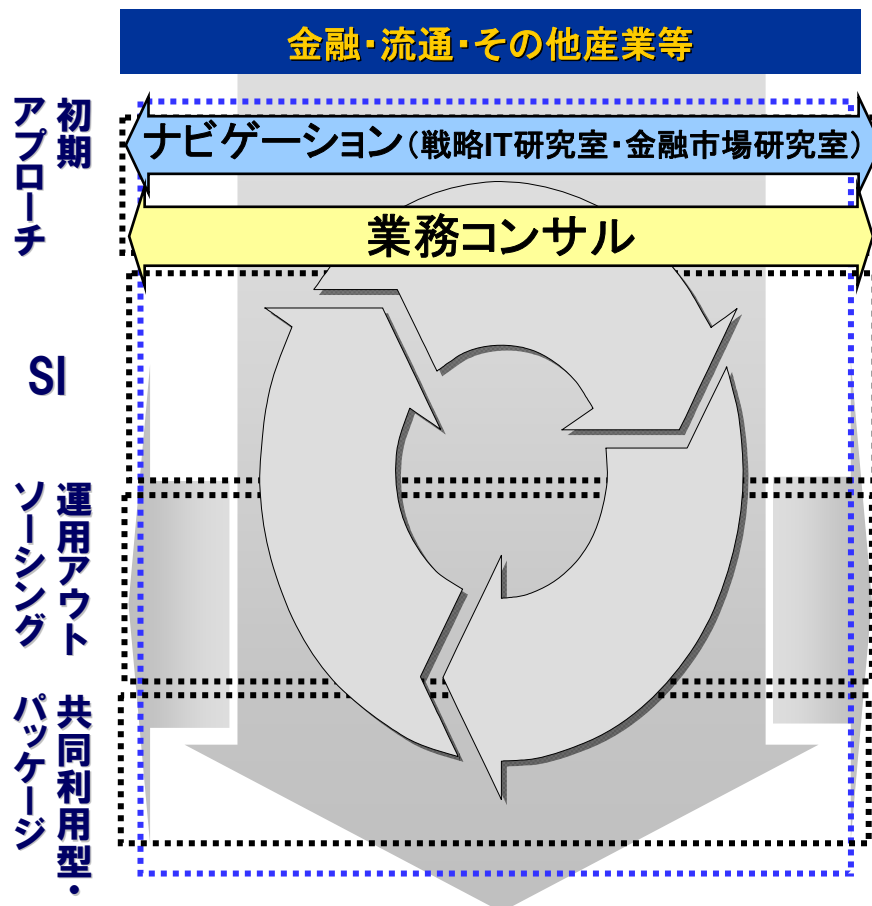
### 今期のトップライン予想



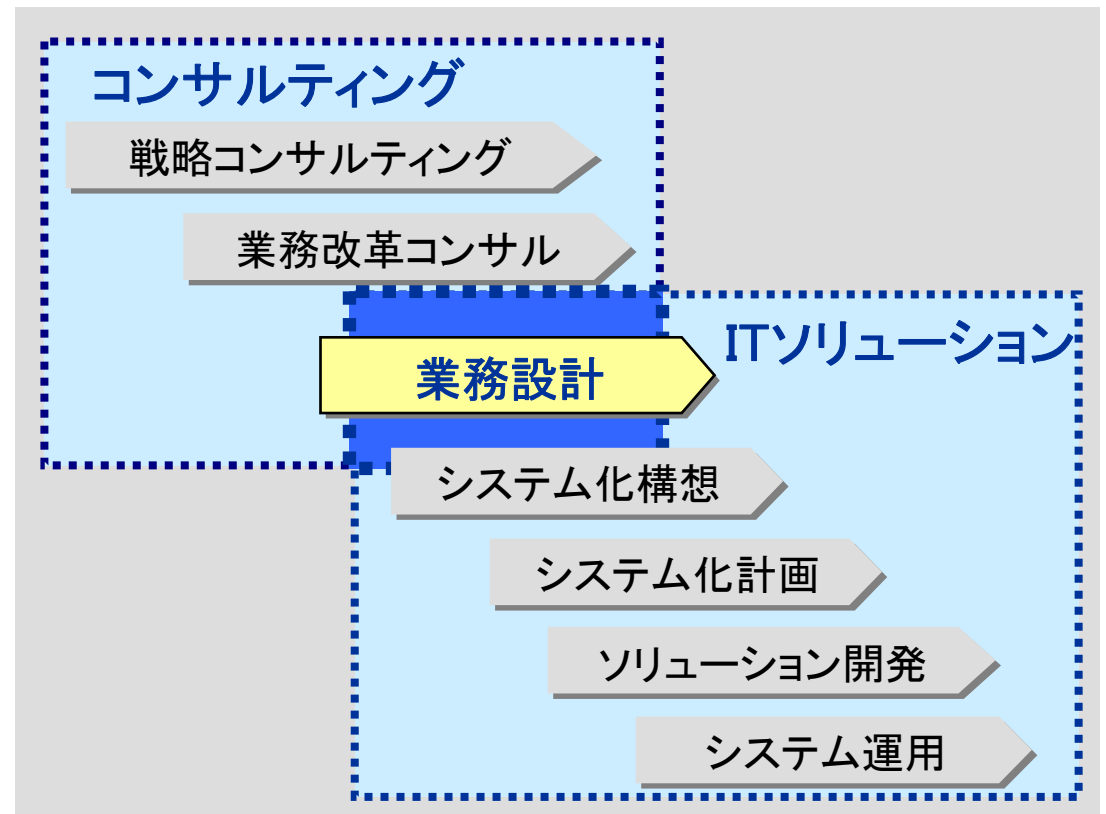
(注) 顧客の業種組換え影響分を差し引くと実質的に成長

## 2. 新規顧客開拓:ナビゲーション力と業務コンサル機能を強化

- 情報発信、提言を積極的に行い戦略・業務・ITなどあらゆる側面から解決策を提供し顧客発展に寄与する



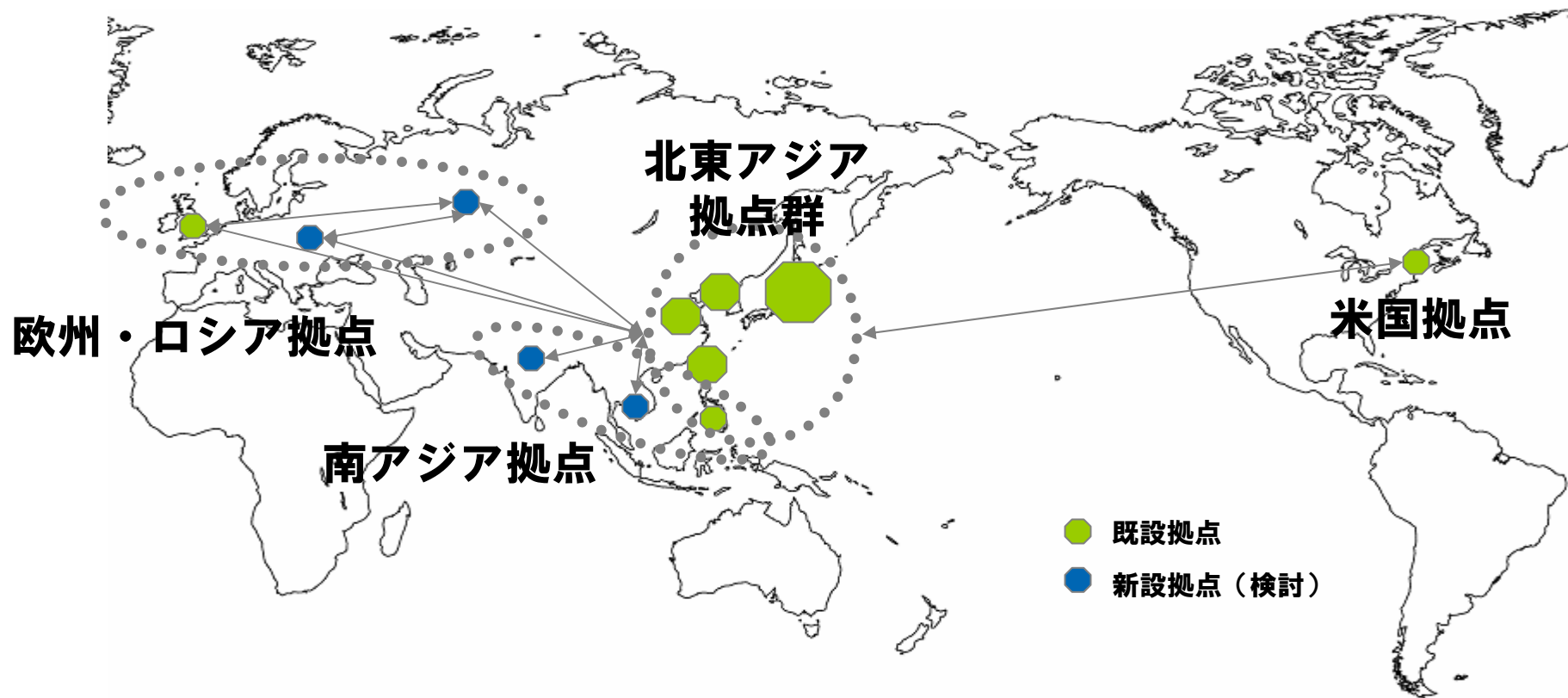
### 業務コンサルの位置づけ



### 3. アジアビジネス ～コンサルティング事業

#### ➤ 日本・アジア顧客向けのクロスボーダー型コンサルの強化

- 新興国へのさらなるネットワークの拡大を目指し、ロシア、インド、ベトナム等への新拠点の検討を行う

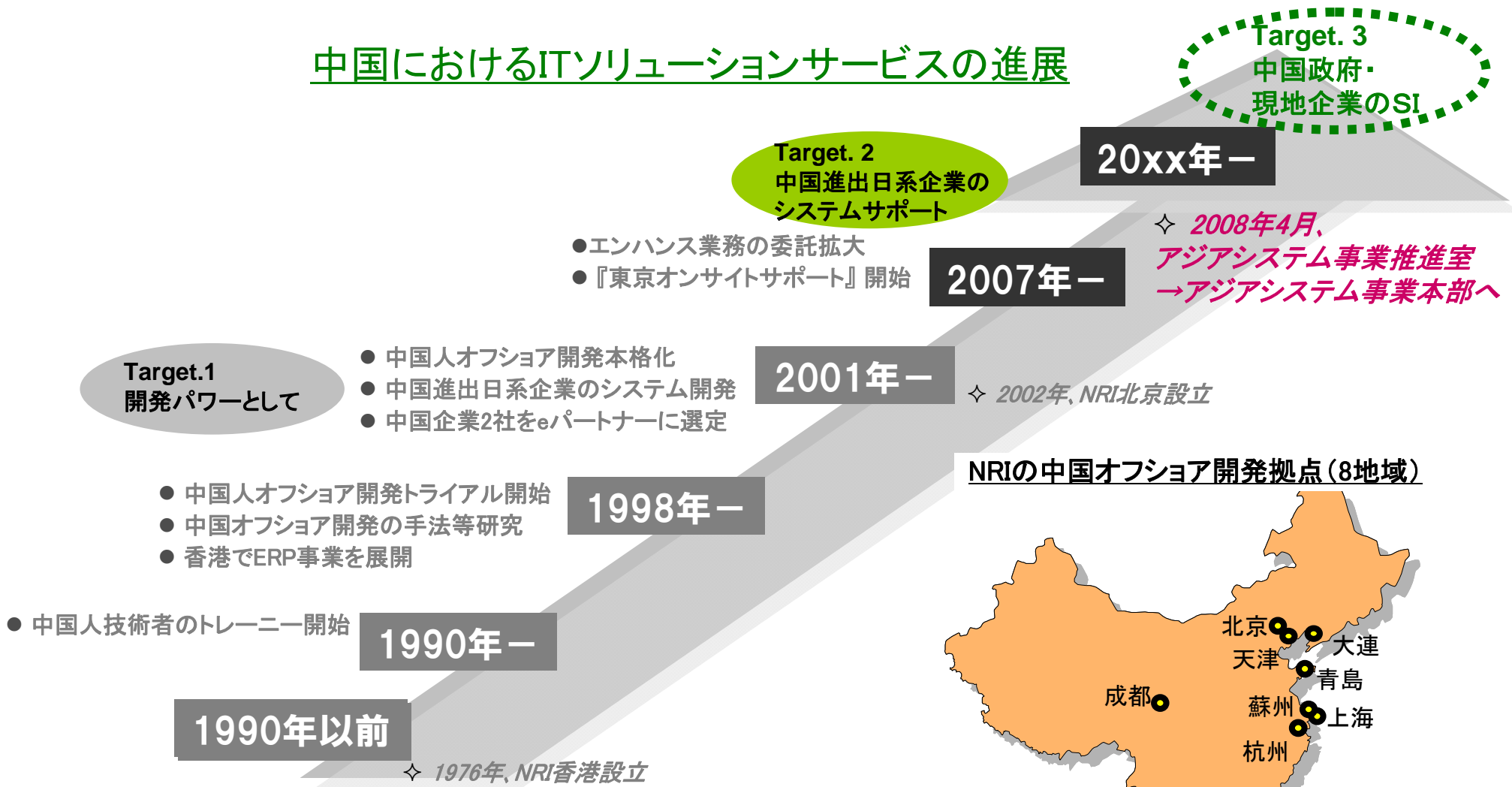




### 3. アジアビジネス ～ITソリューション事業

#### ➤ アジアシステム事業推進室を事業本部へ格上げし人員強化

#### 中国におけるITソリューションサービスの進展



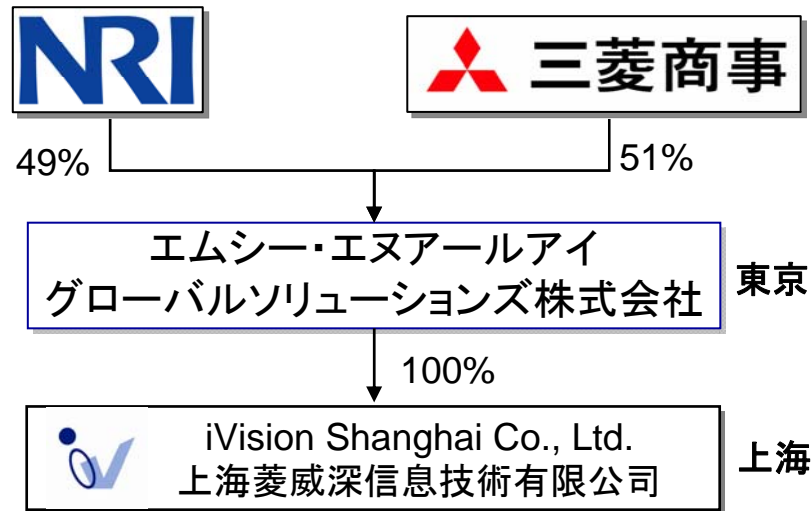
#### NRIの中国オフショア開発拠点(8地域)



### 3. アジアビジネス ～ITソリューション事業

➤ 三菱商事と共同で中国における事業展開を進めることで合意

#### 共同事業のスキーム



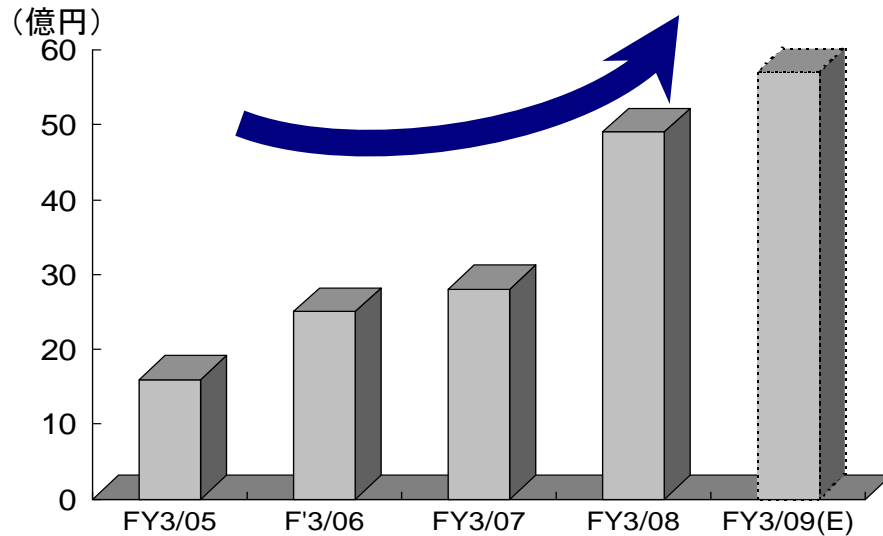
2008年4月22日 日本経済新聞

中国・アジアの日系企業へ

ERP,SCM等システムソリューションを提供

# 3. 研究開発

## ➤ 成長領域にフォーカスし研究開発を継続



### 今期R&Dテーマの一部

- 金融系フロントソリューション
- カード関連ビジネス
- 通信向けソリューション開発
- ヘルスケア分野
- 生産管理、テスト支援手法の研究
- 各分野のナビゲーションのための調査・研究
- ...etc.

短期(1~2年)

中長期3年~

事業本部(現場)  
R&D

事業系R&D  
『金融』 『非金融』

技術系R&D

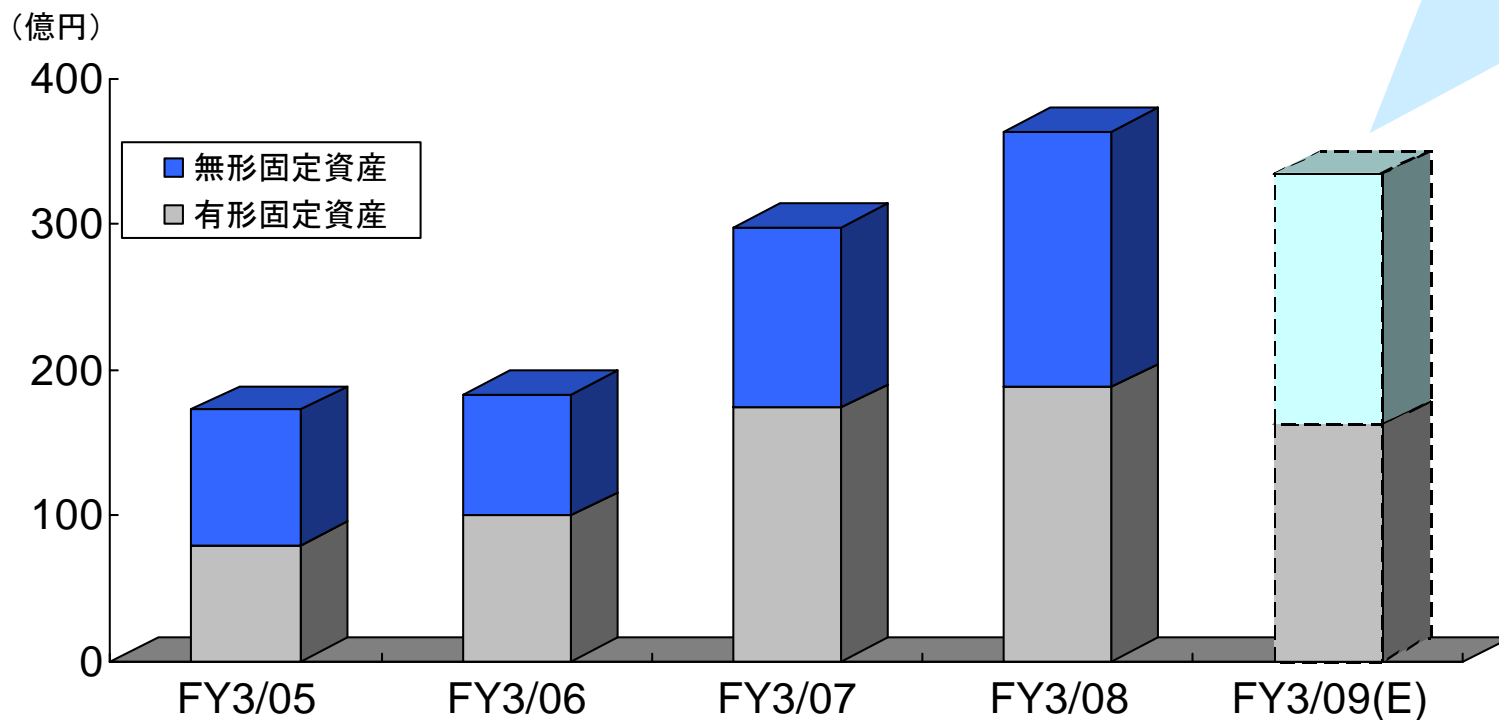
『情報技術分野』 『生産技術分野』

研究系R&D 『未来予測分野』(社会のナビゲーション)

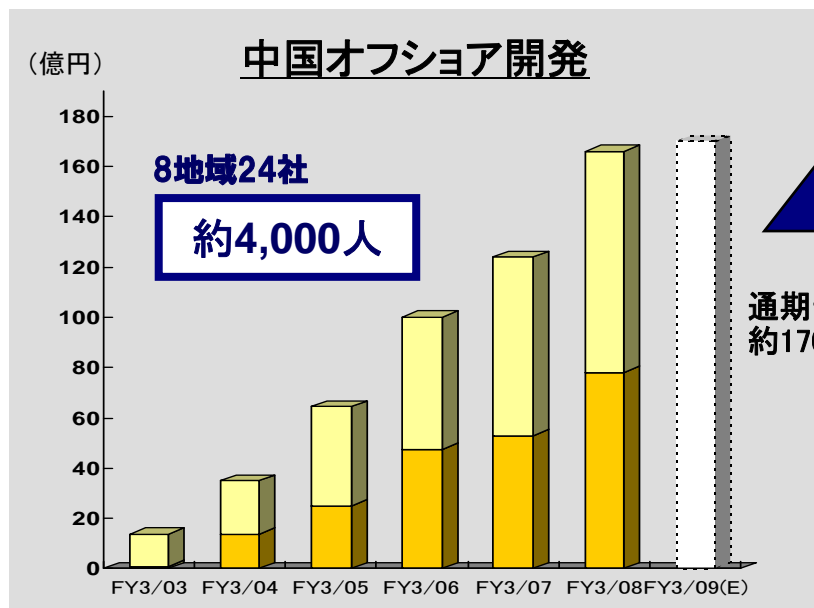
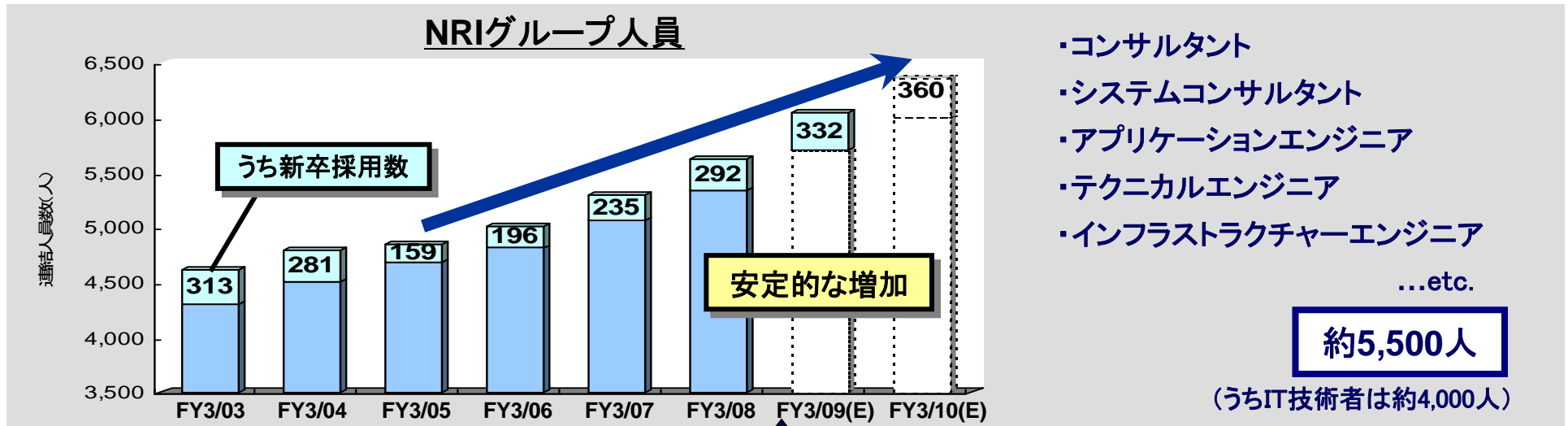
### 3. 設備投資の方向性

#### 設備投資額の推移

- 共同利用型システムサービスの更新・新規開発
- 運用サービス拡大に伴うハードウェア投資
- …etc.



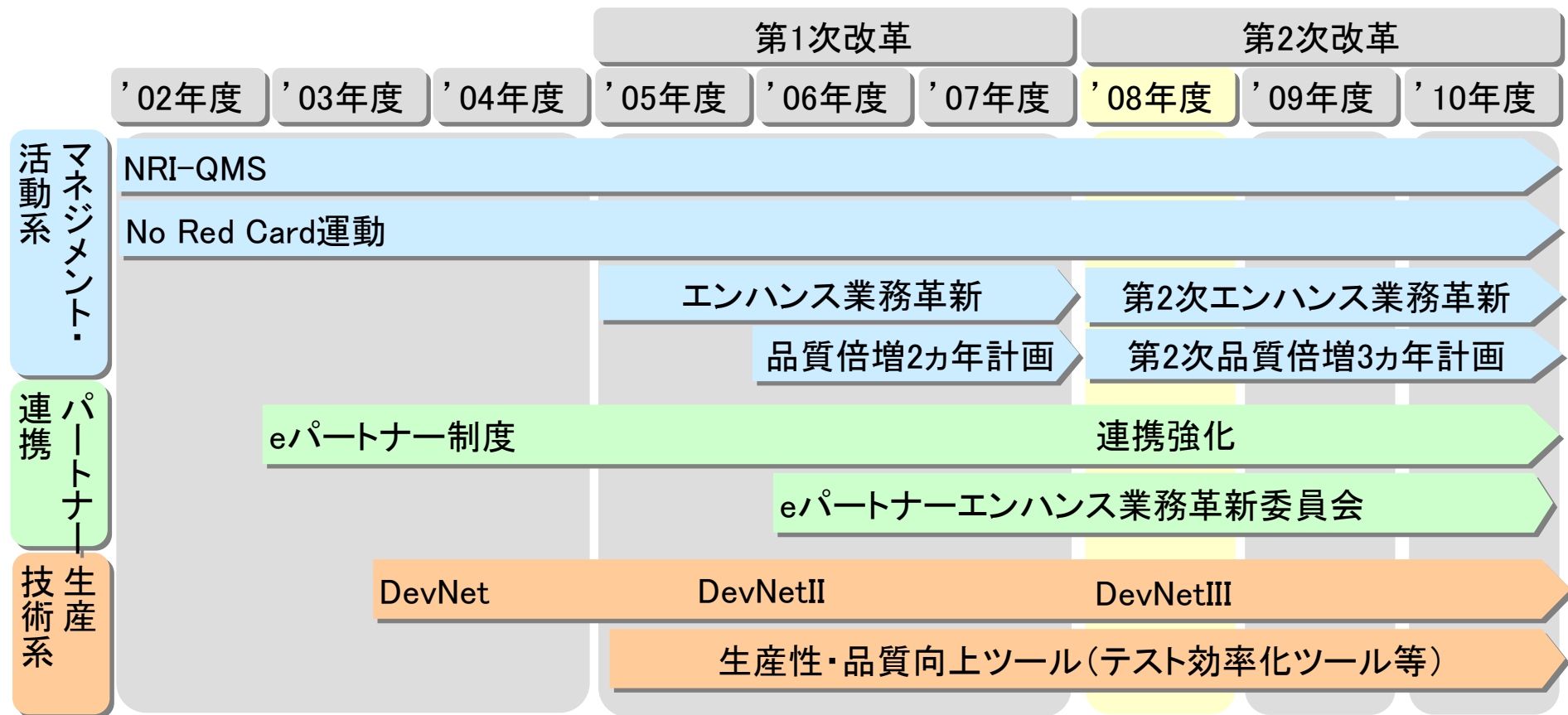
# 4. 外部戦力の選択的活用～社員+国内・中国協力パートナー



# 5. プロジェクト監理・品質強化

## ▶トラブル削減、エンハンスメント業務改革、運用改善等をさらに強化

- 第2次品質倍増3ヵ年計画をスタート、3年間で障害件数半減を目指す
- 生産性向上ツール(テスト効率化ツール&サービス等)の本格展開 等



- 
- ・本資料は、2008年3月期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
  - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。